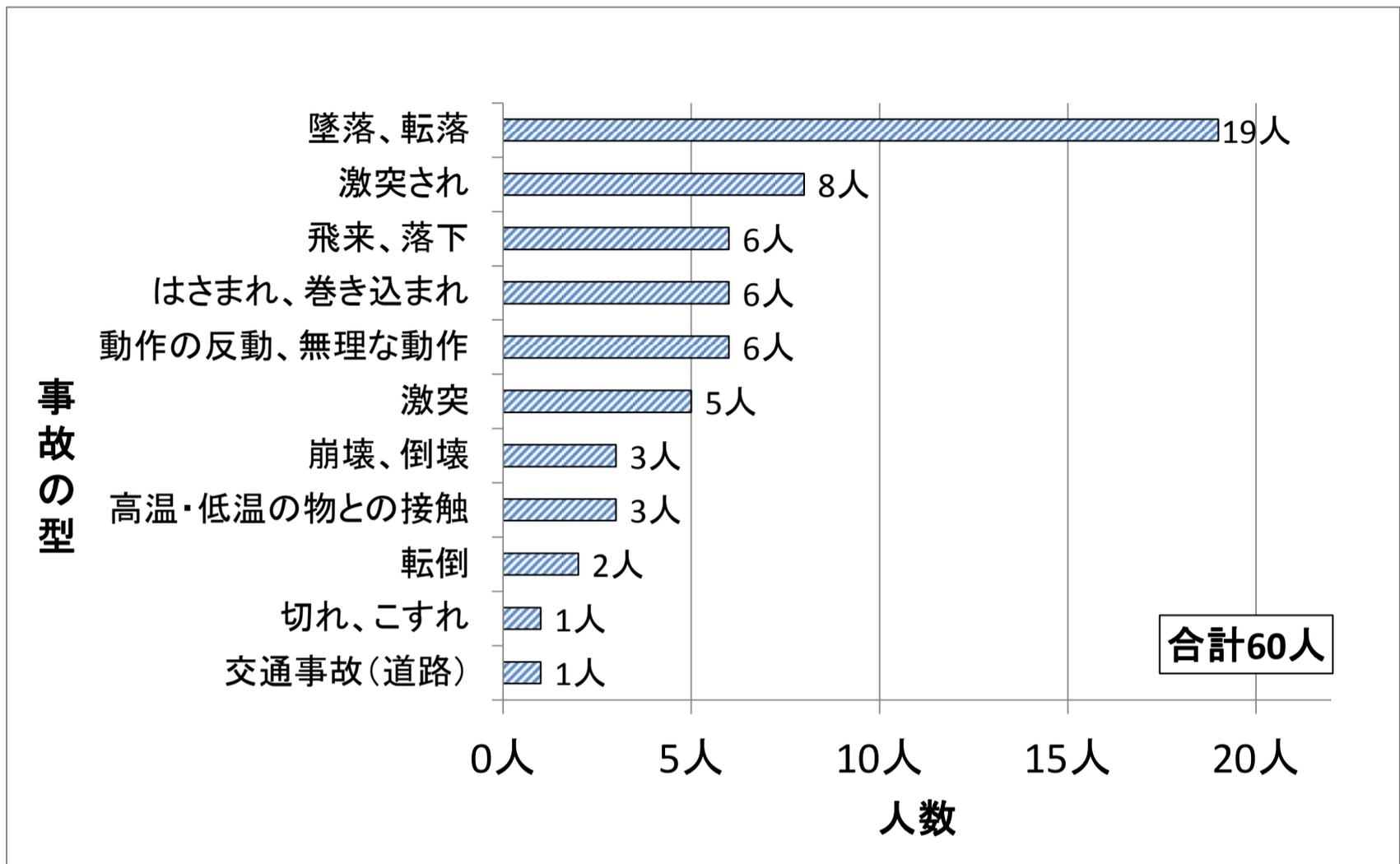


鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業の 労働災害の発生状況(平成28年1月～12月)

1. 災害の原因別

平成29年3月末現在



- ①墜落・転落災害では、壁面の工事中に足場から墜落したもの、足場の解体中に墜落したもの、固定されていなかったはしごと滑って転落したもの、脚立の踏み棧から滑り落ちたもの、昇降タラップから転落したもの、高所作業車から転落したもの、法面から転落したもの等が発生しています。
- ②激突され災害では、工場内でクレーンで積込作業中の鉄筋束に当たったもの(死亡)、作業中に突風に煽られた扉に当たったもの、移動式クレーンから外れたワイヤーに当たったもの、足場内でしゃがんでいた作業員の脇を通った際、作業員の眼に安全帯の部品が当たったもの等が発生しています。
- ③飛来・落下災害では、RC躯体の解体中、上方からコンクリートのガラが落下し、後頭部を打ったもの、移動式クレーンで移動中の荷が回転、落下して、転倒した被災者の手がスラブと荷の間にはさまれたもの、重機が掴み損ねた材が飛び当たったもの、飛んできた異物が眼に当たったもの等が発生しています。
- ④はさまれ、巻き込まれ災害では、型枠解体作業中に外れた型枠材と足場の部材に手を挟まれたもの、機械の作動部分に手を挟まれたもの等が発生しています。
- ⑤動作の反動・無理な動作では、碎石敷均し作業中に膝を捻って負傷したもの、法面の段差で足を捻り骨折したもの等が発生しています。
- ⑥激突災害では、地下ピット内で梁に頭をぶつけたもの、掘削法面に飛び降り着地時に足を負傷したもの、立馬から飛び降りて着地時に負傷したもの、ステップに上がったときに頭を上方の突起物にぶつけたものが発生しています。
- ⑦崩壊、倒壊災害では、アウトリガーのないローリングタワーの上部から外側を伝って降りようとして同タワーと共に倒れたもの、解体していた擁壁が倒れ下敷きになったもの等が発生しています。
- ⑧高温・低温の物との接触では、発電機に給油しようとガソリン缶の蓋を開けたところ、ガソリンが噴き出して引火し(発火原因不明)、腕に火傷を負ったもの、アスファルト溶剤に接触したもの、熱中症によるものが発生しています。
- ⑨転倒災害では、鉄筋上を歩行して転倒したもの、石に足を掛けて段差を登ろうとしてバランスを崩し転倒したものが発生しています。
- ⑩切れ、こすれ災害では、はつり作業中、サンダーで足を切ったものが発生しています。
- ⑪交通事故(道路)災害では、出張時の自動車事故が発生しています。

【鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業】

2. 災害の起因物別

平成29年3月末現在

(前年同月比較)

起因物	H27(1月～12月)		H28(1月～12月)		対H27同月増減	
	件数	H27の割合	件数	H28の割合	件数	割合
動力伝導機構		0.0%	1	1.7%	1	#DIV/0!
木材加工用機械	1	1.7%		0.0%	-1	-100.0%
建設機械等	4	6.9%	5	8.3%	1	25.0%
金属加工用機械	2	3.4%	2	3.3%	0	0.0%
車両系木材伐出機械等	1	1.7%		0.0%	-1	-100.0%
動力クレーン等	6	10.3%	4	6.7%	-2	-33.3%
動力運搬機	3	5.2%	1	1.7%	-2	-66.7%
乗物	2	3.4%	1	1.7%	-1	-50.0%
人力機械工具等	2	3.4%		0.0%	-2	-100.0%
用具	7	12.1%	14	23.3%	7	100.0%
仮設物、建築物、構築物等	19	32.8%	20	33.3%	1	5.3%
危険物、有害物等	1	1.7%	1	1.7%	0	0.0%
材料	5	8.6%	5	8.3%	0	0.0%
荷		0.0%	1	1.7%	1	#DIV/0!
環境等	4	6.9%	3	5.0%	-1	-25.0%
その他の起因物	1	1.7%		0.0%	-1	-100.0%
起因物なし		0.0%	2	3.3%	2	#DIV/0!
	58	100.0%	60	100.0%	2	3.4%

(1) 労働災害の起因物をみると、平成28年は前年同月と比較して「用具」が7件、100.0%などと増加しています。

- ・「用具」は、脚立、はしご等で、墜落・転落等の災害の原因となったものです。また、設備の部品で、飛来・落下の災害の原因となったものもあります。

(2) また、平成28年は、「仮設物、建築物、構築物等」が20件、33.9%、「材料」と「建設機械等」がそれぞれ5件、8.5%、「動力クレーン等」が4件、6.7%と件数、割合とも高くなっています。

- ・「仮設物、建築物、構築物」は、足場、型枠支保工、躯体、タラップ、通路等で、墜落・転落、はさまれ・巻き込まれ、崩壊・倒壊、激突等の災害の原因となったものです。
- ・「材料」は、石や砂利等で、飛来・落下災害の原因となったものです。
- ・「建設機械等」は、掘削用機械や高所作業車等で、墜落・転落、崩壊・倒壊等の災害の原因となったものです。
- ・「動力クレーン等」は、移動式クレーンで、飛来・落下、激突され、はさまれ・巻き込まれの災害の原因となったものです。

3. 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業の災害事例(同種災害が多く発生している事例等を例示)

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	はしご等	濡れ縁の上に据えた脚立を使い、建屋の目地のシーリング撤去作業中、バランスを崩し転落し、背部等を骨折した。
墜落、転落	通路	現場から資材置場に向かう際、通路を歩かず、近道をしようと法面を降りたところ、滑って転落し、足を骨折した。
墜落、転落	足場	施設建屋の建築工事現場で、出入口のシャッターのカバー上に金属板を取り付ける作業中、足場から足を踏み外して墜落し、頭部を打撲した。
墜落、転落	トラック	鉄筋コンクリート造の建物を解体中、解体したガラをフレコンバッグに入れ、ドラグショベルでダンプカーに積み込みしていたところ、フレコンバッグがダンプカーの車体に接触した。その衝撃で車体が揺れ、ダンプカーのシートキャリア上にいた誘導者が荷台上に転落し、手を骨折した。
激突され	クレーン	工場敷地内でジブクレーンを使用し、構内運搬用のトラックに鉄筋束の積み込み作業をしていたところ、鉄筋束が振れトラック荷台上で玉外しのため待機していた労働者に衝突した。この衝撃で被災者は荷台から鉄筋を置いてた床面に墜落し、さらに上方から鉄筋束が落下し、腹部をはさまれた。
激突され	移動式クレーン	移動式クレーンの子フックを巻き上げていた際、吊り治具が親フックに掛かっているワイヤーに接触してワイヤーが外れ、被災者に当たった。
激突され	その他の材料	集水枡の側面を加工するため、ドラグショベルのバケットで集水枡を転がし、加工する面を表にしたところ、集水枡を押さえていた作業員の足に当たり、当該作業員が足を骨折した。
飛来、落下	移動式クレーン	移動式クレーンを使用して高所作業車を移動中、荷下ろし地点で巻下げしていたところ、被災者がバランスを崩して転倒し、その際、高所作業車に触れてしまい高所作業車が回転、落下してきて、転倒した被災者の手がスラブと高所作業車の間に挟まれた。
飛来、落下	その他の用具	鉄骨建入れ調整作業中、アンカーボルトに掛けていたフックが外れ、その拍子にレバーブロックとワイヤーも外れ飛び、それらが顔面に当たり、負傷した。
はさまれ、巻き込まれ	シャー	工場内のシャーリングで鉄板を切断中、鉄板を押さえていた指が押さえ金具にはさまれ負傷した。
動作の反動、無理な動作	はしご等	4尺の脚立を外向きで降りているとき、踏面を踏み外した。バランスを崩しながらも、着地したとき、膝を捻り、負傷した。
激突	その他の建設機械等	コンクリート打設中、圧送管が旋回し身体に接触しそうになったため、掘削法面に飛び降りたところ、着地時に踵を骨折した。
崩壊、倒壊	掘削用機械	外構工事で既存コンクリート擁壁一部を重機で解体していたところ、当該擁壁が倒れ、擁壁の近くにいた作業員が下敷きになり、足を骨折した。
高温・低温の物との接触	その他の材料	浴室の防水作業に使用したアスファルトで顔面と足に火傷を負った。階段でアスファルト溶剤の入った缶を運んでいるとき、段差に缶をぶつけたことでアスファルトが飛散し、顔面にかかった。さらにその拍子に靴が脱げ、脱げた足で踏面にこぼれたアスファルトを踏んだもの。
転倒	建築物、構築物	基礎コンクリートの打設作業中、鉄筋に絡まった配線を外すため、鉄筋上を歩行したところ、鉄筋の段差に足をとられて転倒し、腰部を骨折した。